

巻 頭 言

看護学科紀要第5巻発刊にあたって

皆様に看護学科紀要第5巻をお届けいたします。本年度は7編の論文投稿があり、そのうちの4編が看護教育に関わる論文でした。看護教員として日々学生の教育に携わりながら、時間を調整しつつ研究に取り組んでおり、学生教育に力を注いだことの成果であり嬉しく思います。学生への教授内容は日々の改善が要求されます。研究活動を通して得られた知見が教授内容や日々の学生指導に活用されることを期待しております。

また、他の論文は在宅で生活している方への支援に関わるものであり、看護教員による地域連携や社会貢献を継続的してきた成果です。

本年度は2回目の学内研究発表会を開催いたしました。学会発表と同じ示説形式で最後に30分間の質疑応答の時間を設けました。ディスカッションを通して教員間でお互いの研究成果を共有することができたことは、看護学の発展に役立ったのではないかと考えます。

今後は、教員の研究内容を公開講座などの機会を通して報告し、地域貢献の一躍を担えたらと思っております。紀要委員と査読を担当していただいた皆様に感謝いたします。

最後になりましたが、学内外の皆様の積極的なご批判を期待しております。

平成24年3月

埼玉医科大学保健医療学部看護学科

学科長 佐鹿 孝子